## 「TSL1.2」を有効にする設定方法について

平素は、СSアカウンティングクラウドサービスをご利用いただき、ありがとうございます。 通信内容が漏洩するセキュリティ上の脆弱性がある、通信暗号化方式「SSL2.0/3.0」および、

「TLS1.0/1.1」の対応策として、弊社クラウドサービスにおいてもこれらの脆弱性のあるプ ロトコル通信を終了致します。

弊社クラウドサービスを利用するためには、より安全なプロトコル通信を行うため、

「TSL1.2」を有効にしていただく必要がございます。

×

誠に恐れ入りますが、「TSL1.2」のプロトコル通信の使用が「有効」になるよう、Internet Explorer の設定を変更していただきますよう、お願い致します。

なお、有効にしなかった場合、無応答になり画面が表示されなくなったり、「ページが表示 できません | と表示され、クラウドサービスに接続できなくなってしまいますのでご注意く ださい。また他ブラウザをご利用の場合、最新バージョンへアップデートをお願い致します。 手順につきましては、下記をご確認ください。

【TSL1.2 有効化設定変更手順】

① Internet Eplorer を開き、メニューバーの「ツール (T)」、および右上の歯車のボタンか ら、「インターネットオプション(0)」を押下します。

健 新しいタブ			׼		
ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	お気に入り(A)	ツール(T)	ヘルプ(H)
閲覧履	履歴の削隊	余(D)			Ctrl+Sh

閲覧履歴の削除(D) InPrivate ブラウズ(I) 追跡防止を有効にする(K) ActiveX フイルター(X) 接続の問題を修正(C) 最終閲覧セッションを再度開く(S)	Ctrl+Shift+Del Ctrl+Shift+P		
ダウンロードの表示(N) ポップアップ ブロック(P) Windows Defender SmartScreen フィルター(T) メディア ライセンスの管理(M) アドオンの管理(A)	Ctrl+J > >	-	
互換表示設定(B)			印/师J(P) ファイル(F)
このフィードの受信登録(F) フィード探索(E)	>		拡大(Z) (200 セーフティ(S)
パフォーマンス ダッシュボード F12 開発者ツール(L)	Ctrl+Shift+U		ダウンロードの アドオンの管理
OneNote Linked Notes Lync Click to Call Send to OneNote			F12 開発者ツ ピン留めサイト 互換表示設定
Web サイトの問題を報告(R)			インターネット:
インターネット オプション(O)			バージョン情報



② 「インターネットオプション」のダイアログが開くので、「詳細設定」タブを開き、画面 を下に少しスクロールしてセキュリティのカテゴリの「TLS1.2 の使用」にチェックを 入れます。最後に「OK」ボタンを押下します。

インターネッ	ット オプション					?	×
全般	セキュリティ	プライバシー	コンテンツ	接続	プログラム	詳細設知	定
設定							- 1
שע 1 <b>מ</b> ע ע ע ע ע ע ע ע ע ע ע ע ע ע ע ע	コンコードされ、 マキュリティ DOM ストレー Internet Exp POST の送信 SSL 3.0 を使 TLS 1.1 の使 TLS 1.2 の使 Unindows De サーバーの証明 ダウンロードしょ スイティブ XM フラウザーを閉 マイ コンピュー	たアドレスを常 -ジを有効にす lorer でアクセ が POST を評 用する 用 目書失効を確 に LHTTP サポー したとき、[Ter ターでの、CD	に表示する る えしたサイト F可しないゾ intScreen を 認する* 署名を確認 トを有効にす nporary Int のアクティブ	にトラッキン -ンにリダイ する ta avrnet File コンテンツ(	ング拒否要求 イレクトされた: る es] フォルダー の実行を許可	を送信 場合に <sup>警</sup>	
< * T	ンピューターの正	記動後に有る	めになります			>	
Intern	let Explorer Ø	)設定をリセッ	L.	詳	細設定を復	元(R)	
Inte す。	Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットしま リセット(S)… す。						
ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。						ださい。	
		0	OK	+	キンセル	適用	(A)